



©アビー・ギンズバーグ提供



©アビー・ギンズバーグ提供



©アビー・ギンズバーグ提供

権力を恐れず真実を -米国下院議員 バーバラ・リーの闘い- *Barbara Lee: Speaking Truth to Power*

バーバラ・リー議員の闘いから学ぶこと

岡田泰弘 ● アメリカ史研究者

本作品はアメリカ合衆国の連邦下院議員であるバーバラ・リーの社会正義を求める闘いを追ったドキュメンタリーである。リー議員が一躍脚光を浴びたのは、2001年9月11日の同時多発テロ直後に連邦議会が大統領に対して武力行使を認める決議をした際の彼女の行動だった。報復感情で一色となっていた当時のアメリカで、彼女はあえて武力行使の抑制を求め、大統領の権限の際限なき拡大に断固として抵抗するために、ただ一人反対票を投じたのだった。「民主主義の根幹には異議を唱える権利がある」という彼女の言葉は、政治的な分断が深まりつつある現代日本に生きる私たちにも投げかけられている。近年の日本の安全保障をめぐる状況の劇的な変化に対して一部でタカ派な動きが見られるが、このような時代だからこそナショナリズムの誘惑に屈せず、権力に対する監視を怠ることなく正義の実現のために行動し続けるリー議員の政治姿勢から学ぶべきことがあるだろう。

バーバラ・リーは連邦議会でもまだまだ数少ないアフリカ系女性議員の一人である。彼女が掲げる政策課題は人種差別、貧困、住宅、教育、移民、ドラッグなど多岐に渡り、その政治活動は伝統的な黒人政治の枠組みを超えたところにある。選挙区であるカリフォルニア州オークランドの人々の多様な声に真摯に耳を傾ける一方で、エイズ対策ではアフリカ諸国も視野に入れたグローバルな視点による問題解決に取り組んでいる。また、そのためにはブッシュ大統領(当時)に協力を求めるなど、党派を超えた行動も厭わない。さまざまな分断を乗り越えてグローバルな社会正義を実現するためには、地球規模で考えながら地域社会に根差した活動ができる「グローバル」な視点と、人種・ジェンダー・階級など複合的な権力関係が絡んだ問題を提起できる「インターセクショナル」な視点を持ち、さらには自分の信念に従って行動できる彼女のような政治家が世界中でますます求められるだろう。

あらすじ ブラックパンサー党でのボランティアからキャリアを開始、後に米議会で2001年の同時多発テロに対する武力行使決議に唯一反対をして一躍有名になった民主党連邦下院議員、バーバラ・リー。本作では現役の連邦議員や作家のアリス・ウォーカーらのコメントも交え、長年民主主義的な政治活動を先導する氏に焦点を当てる。

Story Barbara Lee: Speaking Truth to Power is an intimate, inspiring and timely portrait of Congresswoman Barbara Lee, a true pioneer on behalf of racial and economic justice, who raised two sons as a single mother on food stamps, cut her teeth as a community worker for the Black Panther Party and was the lone vote in opposition to the authorization of military force after the September 11th attacks. Rep. Lee is the highest-ranking African American woman in the U.S. Congress. An all-star cast including Senator Cory Booker, Rep. John Lewis, Rep. Ayanna Pressley, Rep. Alexandria Ocasio-Cortez, commentator Van Jones, actor Danny Glover and author Alice Walker all share insights about what makes Barbara Lee unique as a public servant and as a truth-telling African American woman.

USA

アメリカ

2020年/83分/英語/カラー
2020/83min./English/Color

STAFF

監督: アビー・ギンズバーグ
編集: ステファニー・メチュラ
コンサルティング・プロデューサー: ショーラ・リンチ
インパクト・プロデューサー: ジョスリン・ローズ・ライアンズ
撮影: アシュレー・ジェイムズ、ヴァインセント・フランコ
音楽: オセイ・エセド
サウンド・デザイン・コンサルタント: ジェイムズ・レブレクト

Director/Producer: Abby Ginzberg
Editor: Stephanie Mechura
Consulting Producer: Shola Lynch
Impact Producer: Joslyn Rose Lyons
Cinematographer: Ashley James, Vincente Franco
Composer: Osei Essed
Sound Design Consultant: James Lebrecht

CAST

ドキュメンタリー
バーバラ・リー
コリー・ブッカー
アレクサンドリア・オカシオ＝コルテス
アリス・ウォーカー

Documentary
Barbara Lee
Cory Booker
Alexandria Ocasio-Cortez
Alice Walker

DIRECTOR

アビー・ギンズバーグ 監督

Abby Ginzberg

米国出身。人種や社会正義をテーマとしたドキュメンタリー作品を30年以上撮り続け、近年では『SOFT VENGEANCE: Albie Sachs and the New South Africa』で2015年にビーボディ賞、当映画祭でも上映された『AND THEN THEY CAME FOR US』(2017)でSilver Gavel賞を受賞。本作もまた、全米黒人地位向上協会(NAACP)が開催する映画・テレビ・音楽・文学の賞であるNAACPイメージ・アワードを受賞する他、各映画祭、メディアでも非常に高い評価を受けている。



Other Information

製作: Ginzberg Productions
Distributors: Greenwich Entertainment, WMM